

令和8年度一般選抜（B日程）における英語正解及び出題意図

国際経済学部

<問題作成の基本的な考え方について>

国際経済学部のアドミッション・ポリシーでは、英語に関しては「読む・書く・話す・聞く」の4技能をバランスよく習得し幅広い基礎学力を身に着けていることを求めている。このことから、英語による質問に対して適切な回答を英語でアウトプットする能力を持っているかを測りたい。また、自らの考えを論理的にまとめ、わかりやすく伝えようとする意欲を測りたい。

1

<解答>

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
B	D	D	D	C	B	C	B	B	A

<出題の意図>

特定のテーマ（本問ではパリおよび世界諸都市における水不足問題）に関する英文から、指示された箇所・段落や文章全体について、その内容や提示されている情報および含意を正しく読み解く能力を持っているかを測りたい。

2

<問題の内容>

自国における伝統的な風習や祭りを1つ選んで外国に紹介するとすれば、何を・どのようなものを選ぶかを説明するとともに、なぜその風習または祭りを他国に紹介する（したい）のかの理由を2つ提示しつつ、自身の見解を120～150語の英文で述べる。

<出題の意図>

問題文の指示や要求を正しく理解したうえで、それに対する回答と自身の見解を、指示された長さ（語数）の英文で論理的かつ明快に記述しまとめる能力を測りたい。文章の内容、語彙や文法の正確さ、文章の構造（読みやすさ）といった観点から英作文能力を総合的に測ることを意図している。